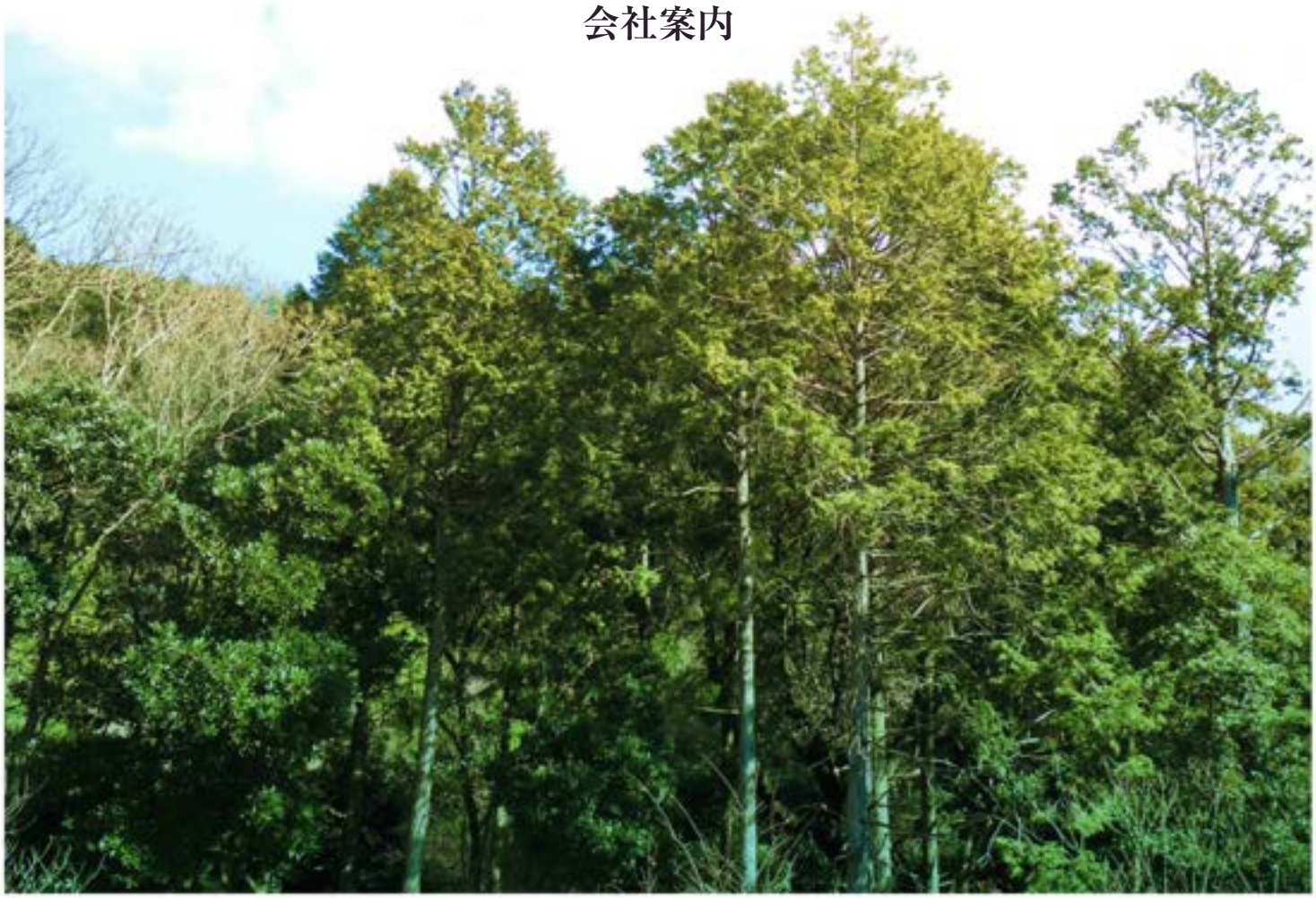
Eagle プレカット®

大森木材株式会社

COMPANY PROFILE

会社案内



苗木を植える心 大樹を描きつつ

世代を重ね家族を守りゆくものは木の家。創業以来私共の変わることのないテーマはただ一つ『木のぬくもり』。
時代の風を常に感じ取りながら豊富なノウハウ、信頼の技術力、そして充実の設備を通して、木の持つその暖かさを一人でも多くの皆様に伝えることが私共の使命と考えます。

私共大森木材グループは構造プレカット材の生産供給を軸に、地域、住宅会社の皆様の多様なニーズにお応えできるよう努力致します。皆様の住まいづくりの夢を何なりと当社スタッフにお申し付けください。必ずや皆様の夢ある住まいづくりにお力添えできますことを確信しております。

計り知れない、木の恩恵。

私たちの国・日本は、世界でも有数の多湿多雨地帯に位置します。その独特の気候風土に育まれた先人たちの英知の結晶ともいえる、木造住宅。いま、この稀有の建築素材「木」の素晴らしさが見直されつつあります。

【落ち着きを与える「ゆらぎ」のリズム】
落ち着いているときの人間は、1/fと呼ばれる45度の傾き「ゆらぎ」のリズムにあると言われます。このリズムに似た一定の規則性をもつ「板目」は、私たちに心の"やすらぎ"を与えてくれます。

【目にやさしい波長の反射光】
表面が独特の凹凸構造になっていることから「木」は、人間の目に有害な紫外線を吸収し、目にやさしい波長の長い光を反射してくれます。

【エアコンにも似た調湿作用】
木質材料を表面材に使用している部屋と使用していない部屋をくらべてみると、使用している部屋の湿度変化は、使用していない部屋の約半分という調査結果がでています。「木」は、人間の発汗作用を正常化するとともに、住居内の「結露」を防ぎ、室内環境を快適に保っているのです。

その他にも、殺菌作用のある成分フィトンチッド、ダニの行動を抑制する独特の精油成分をもつなど、「木」には、私たち人間に"やすらぎ"をもたらす不思議な働きがあるようです。

代表挨拶

代表取締役会長
大森宏幸

豊富なノウハウ、信頼の技術、充実の設備で快適な住文化を創造。

時代が移り生活様式が変わっても、いつも人が住まいに求めるもの、それは『自然のやさしさ』ではないでしょうか。今は小さな苗木に『健康な土壌』を与え、『手入れ』をすることによって大樹に成長する様は、『健康な住まい』と『家族を思う心』に置き換えても通ずるのではないでしょうか。
私共大森木材グループは、これからも自然から与えられた『木材』を有効活用して、心地よい『木のすまい」をお届けしていきたいと思います。

やすらぎの住空間を創造する。

流通から加工、施工まで、快適な住空間をトータルに。

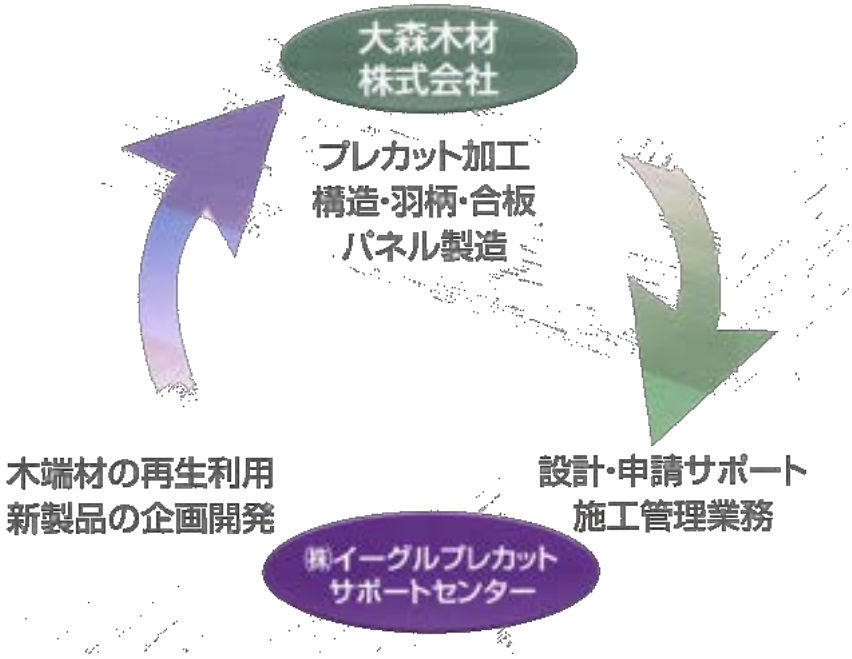
社会の情報化・グローバル化により人々の価値観やニーズが多様化するにつれ、様々な分野で大規模にかつ急ピッチで進む流通革命と技術革新。21世紀に入り発生したかつてない程の大きく早い時代のうねりは住宅業界においても例外ではありませんでした。更に今日では「働き方改革」による労働作業の効率化、それによる労働時間の短縮が時代の趨勢となっており、今後その流れは更に強まることが考えられます。

私共大森木材グループは、こうした時代の流れを敏感にキャッチ。木材の全自動CAD/CAMプレカットシステムが本格的に建築業界へ普及し始めるより前の1990年にいち早くプレカット部門を設立し当時最新鋭の全自動CAD/CAMプレカットシステムを導入しました。そして現在では構造部材の加工から羽柄材、合板に至るプレカットを組み合わせた総合的なプレカット工場へと生産・加工能力の充実に努めています。また、より良質な建築資材を効率的に確保するために、国内はもとより世界各地より資材を直輸入にて調達します。

あらゆる工程で図った省力化、コストダウン、品質向上、そして80年以上に及ぶ経験で培った豊富なノウハウと技術、徹底した人材育成を通じて、お客様と時代のニーズに合った快適な住空間を提供しています。

建築資材の流通から生産・加工、建築までをトータルに————。
“住宅総合商社”として、私共は常に新しい住文化を創造していきたいと考えます。

グループネットワークによる
持続可能な社会への取り組み



抜群の加工精度と
大幅な工期短縮を実現。

木材のプレカットとは

プレカット(Pre-Cut):和訳すると「前もって切断する」の意。転じて「木材のプレカット」とは木造建築物で使用する木材に工場内のプレカットシステムにて接合部の切削加工を施し、一種の「工業製品」として建築現場へ出荷することを意味します。

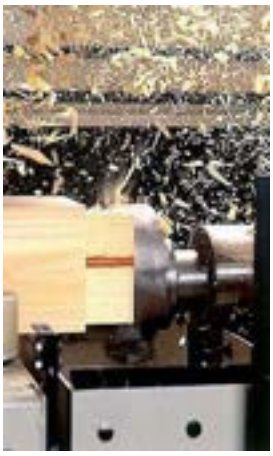
現在、木造住宅は北米大陸で発達した2×4(ツーバイフォー)に代表される、耐久壁を基本とする軸組壁工法と、日本国内において古くから伝統的に用いられている、柱と柱を組み合わせることを基本とする軸組工法の2つの工法が一般的です。
その内、軸組工法において加工精度や強度の大幅な向上をもたらし、工期短縮を可能にするのが木材のプレカットです。

木材のプレカットは1970年代末の単機能型から始まり、1980年代初頭から半ば頃より台頭し始めた全自動CAD/CAMプレカットシステムをきっかけに1990年代から急速に建築業界に普及し、その過程において加工精度や加工速度といったプレカットシステムの性能は大幅に向上しました。
最新の全自動CAD/CAMプレカットシステムにより生産されるプレカット材は設計図面との誤差が0.1mm以下、手加工比約1.5倍の接合部強度を持ち、手加工の約20倍の速度で生産が可能という驚異的な性能を誇ります。

大森木材グループは全自動CAD/CAMプレカットシステムの可能性にいち早く着目し、1990年に全自動CAD/CAMプレカットシステムを導入したのを契機に加速度的にプレカット設備を増強し、現在ではプレカットシステム運用と共に構築してきた緊密な情報ネットワークを活用しながら、地域・年齢・生活様式等により異なる様々なニーズを迅速且つ的確に把握することで、お客様にご満足頂ける「住まいづくり」に役立てています。

「良質な建築資材をお客様の要望に合わせ、いかに高精度に、いかに効率よく加工するか。」

快適な住まいづくりのすべてはこの工程にかかっている、そういっても過言ではありません。精密な加工があって、はじめて質の高い施工が可能になるのです。
大森木材グループでは、時代に先駆けてCAD/CAMシステムとコンピュータ制御のプレカットマシンを導入することで、加工・施工工程での大幅な精度・強度アップ、工期短縮、そしてコストダウンを実現しています。
もちろん、すべてが機械加工という訳ではありません。丸太のようなプレカットマシンでは対応しきれない素材などに関しては、昔ながらの手加工で熟練の職人がひとつひとつ丹念に仕上げていきます。



プレカット加工ならではの精度・強度・効率

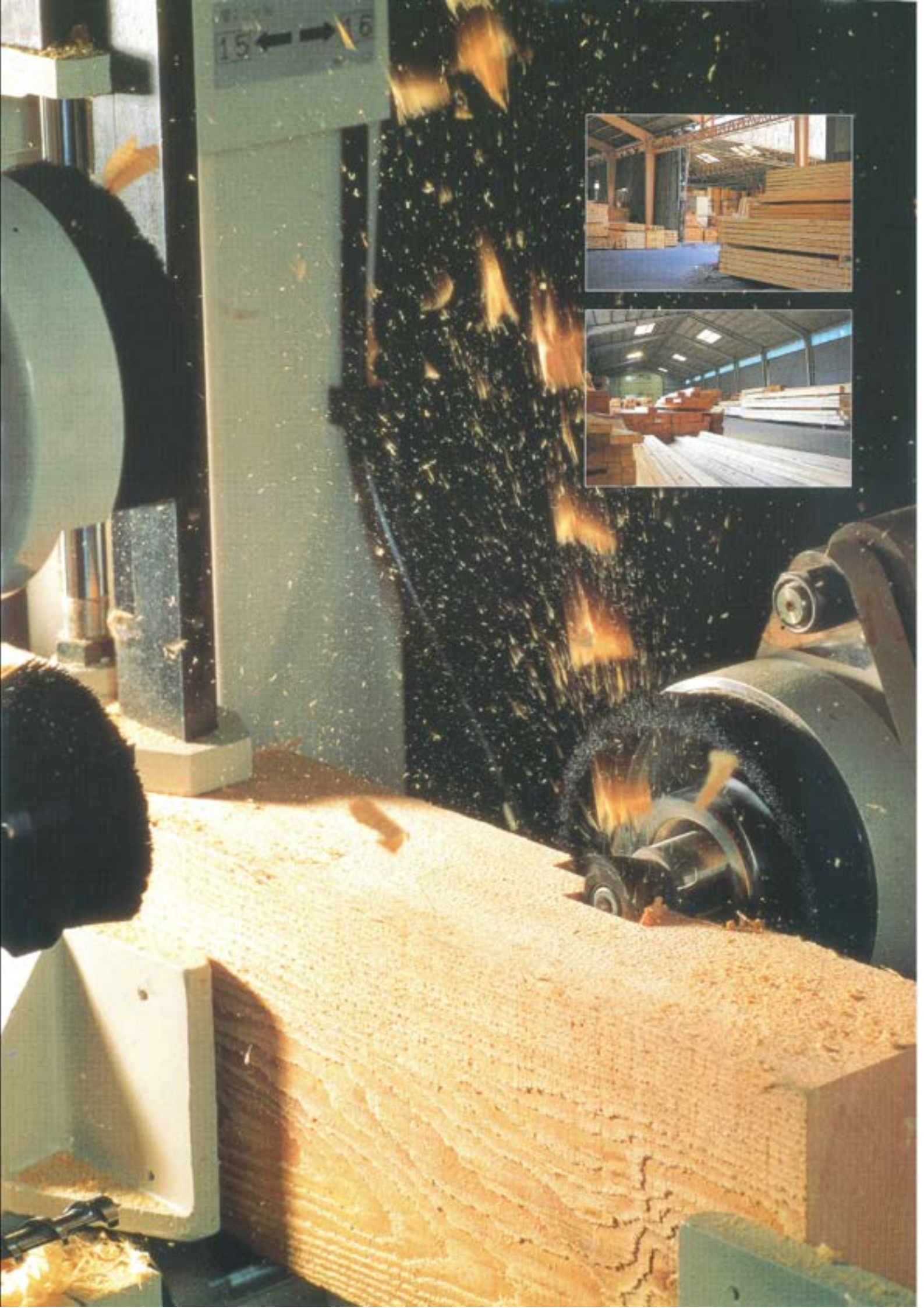
●誤差0.1mm以下の高精度
変形加工の場合でも誤差は僅か0.1mm以下。美しい仕上がりで継手・仕口などの曲面加工も自由自在に行えます。
●従来の手加工の約1.5倍の強度
接合部の強度は従来の手加工の約1.5倍(最大値)。丸加工の場合は加重が分散するため、実質的な強度は更に向上します。

●工期は手加工の約20分の1
例えば30坪の家の構造材を作る場合、1人の職人の手作業で20日かかっていた工期が僅か1日まで短縮されます。

●コストの適正化
作業時間の大幅な短縮により、コストの適正化が期待できます。

CAD/CAMシステムについて

設計図面のさまざまなデータをインプットすることで、設計の微調整や立体的な加工図の確認、正確な加工数値の割り出しができるシステム。高精度な加工は、このシステムからスタートします。


15
16

Eagle プレカット®
大森木材株式会社

時代のニーズに合った住まいを より快適に、より高品質に。

今日の木材のプレカット加工は、構造部材のプレカット設備のみならず、その後の工程となる羽柄・合板のプレカット設備までを備える総合的な工場がスタンダードとなっています。
大森木材グループでは日々多様化するニーズに対応するため、加工能力の充実に努めると共に耐震住宅をはじめとする高水準な需要に対応する木造住宅をお届けしています。

金物接合工法

軸組工法の伝統的な仕口・継手の代わりとして用いられる工法で、軸組を構築する全ての接合部は接合金物が用いられます。接合される柱や梁などの部材端部の形状は一般的な仕口・継手と異なり、金物を取り付ける為のボルトや溝(スリット)の加工が施されます。
部材と構造金物の緊結には、主に六角ボルトやドリフトピン等の接合部を用いることで、梁を引き寄せ柱と密着させます。これこそが自由な空間づくりの実現に堪え得る構造強度を確保する秘密なのです。

また、金物接合工法において主に使用されるJAS認定構造用集成材は、天然の木材の長所をそのままに強度計算に基づいて生産され、反り・ねじれ・割裂・伸縮などの欠点を克服し、飛躍的な強度向上を図ったものです。
これらにより安定した品質を生み出し、構造計算や大規模建築物(非住宅物件)の木材のプレカットが可能となります。

各種面材加工

現在、針葉樹合板やOSB等の各種面材は筋違に替わる耐力壁材として注目されています。
更に間柱や窓枠を面材として一体化させ工場にてパネル化することにより、現場施工の更なる規格化と効率化を実現することが可能となりました。
当社工場は各種面材の加工(床合板、野地合板、壁合板)と面材を用いたパネル材の生産の両方に対応しています。

再生間柱

1990年代からの建築業界における木材のプレカットの爆発的普及は建築現場における省力化と業界におけるコストの適正化をもたらした一方でプレカットにより発生した木質端材の大量廃棄という問題も同様にもたらす結果となってしまいました。それに対し、木質端材を最後まで有効に活用しようと1998年に(有)ザ・クルセイド[現(株)イーグルプレカットサポートセンター]を設立し着手したのが木材再生事業です。
再生間柱の生産は2009年に(有)ザ・クルセイドを新城工場へ移転した際に開始し、現在当社における木質端材の再生先の筆頭となっています。

自然のぬくもりを次世代へ

あいちCO2削減マニフェスト2020

あいちCO2
マニフェスト2020

私達の生活の高度化、文明化は日々の生活を豊かにした一方で、オゾン層の破壊やそれに伴う地球温暖化、異常気象など数多くの環境問題を引き起こし、その過程において地球上の豊かな自然環境が成す術も無く失われ、それは今日においてもなお地球規模で進んでいます。

大森木材グループは自然の産物である木材を扱う住宅産業に関与する企業の責務として「地球環境の保全と改善」「次世代への豊かな自然の継承」を掲げ、再生間柱の生産・販売を主とする木材再生事業を筆頭に継続的に地球環境保護に取り組んできました。

そして平成28年(2016年)に愛知県より「あいちCO2マニフェスト2020」宣言事業者認定を受け、愛知県内の木材のプレカット事業者における環境保全型企業活動のリーディングカンパニーとして積極的に地球環境保護に取り組んで行きます。

ISO14001:2015

MS
CM021

ECO1J0037　0051

当社は2001年(平成13年)5月、豊川営業所(現新城事業所)にて環境における国際標準規格であるISO14001並びに国内規格であるJIS Q 14001の適合認証を(株)日本環境認証機構(JACO)の審査により取得しております。
※名古屋本社、津島事業所、京都営業所及び(株)イーグルプレカットサポートセンターはISO14001:2015認証事業所ではありません。

概要

会社名	大森木材株式会社
所在地	〒457-0038　愛知県名古屋市南区桜本町35
電話番号	052-819-1700㈹
FAX番号	052-819-1280
代表者	代表取締役会長　大森宏幸
設立年月日	昭和29年3月30日
資本金	97,700,000円
従業員数	120名
営業届出	木材業 愛知県登録6158号 建設業 愛知県許可(般-22)第32925号
取引銀行	名古屋銀行 新瑞橋支店 三菱UFJ銀行 笠寺支店
業務内容	木材のプレカット、木材総合販売
保有プレカット加工機	在来金具併用4ライン / 金具専用1ライン / 羽柄材9ライン / 合板4ライン
月産	15,000坪

役員一覧

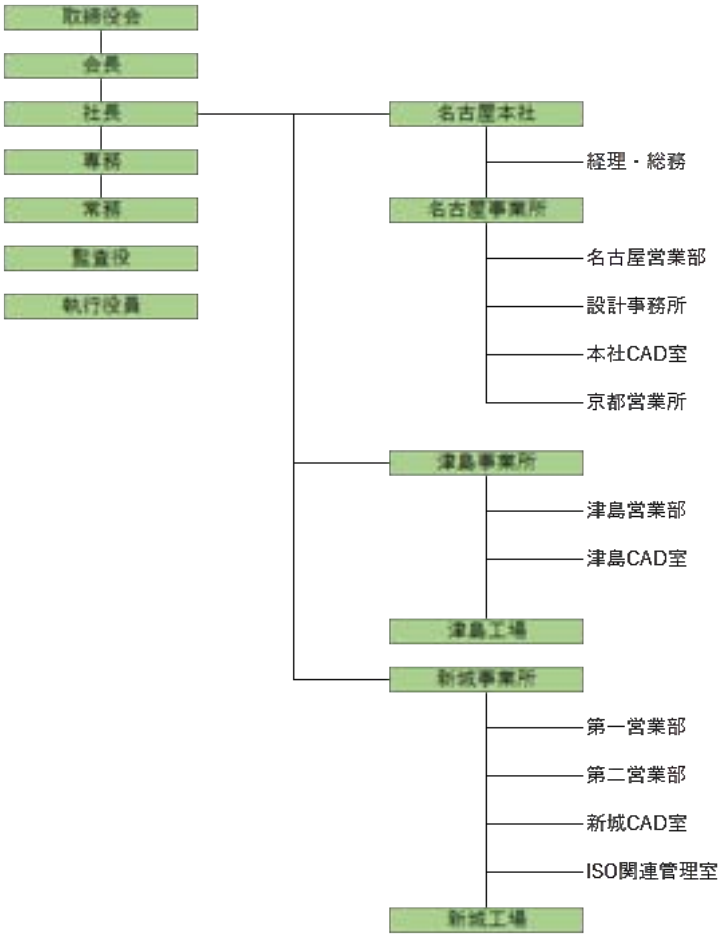
代表取締役会長	大森宏幸
代表取締役社長	原田多起也
取締役専務	稲石栄一
取締役常務	甲斐圭亮
取締役	上山浩司
監査役	小島昭生
執行役員	近藤 博
執行役員	東山忠敏
執行役員	黒谷和之
執行役員	芹沢利信

建築士事務所登録概要

事務所名称	大森木材株式会社一級建築士事務所
所在地	〒457-0038　愛知県名古屋市南区桜本町35
電話番号	052-819-1700
FAX番号	052-819-1280
開設者氏名	代表取締役　原田 多起也
登録番号	一級　愛知県知事登録 (い－3) 第13985号
登録年月日	令和3年6月29日
登録有効期間	令和3年6月29日～令和8年6月28日
管理建築士名	安江 光一
管理建築士登録番号	一級　国土交通大臣登録 第376909号

概要

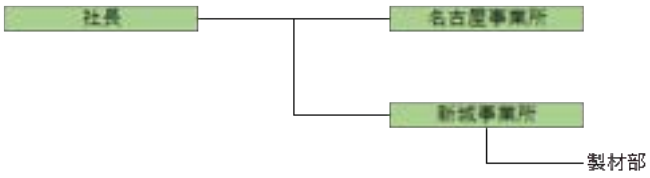
組織図


取締役会
会長
社長
専務
常務
監査役
執行役員
名古屋本社
経理・総務
名古屋事業所
名古屋営業部
設計事務所
本社CAD室
京都営業所
津島事業所
津島営業部
津島CAD室
津島工場
新城事業所
第一営業部
第二営業部
新城CAD室
ISO関連管理室
新城工場

グループ概要

会社名	株式会社イーグルプレカットサポートセンター
所在地	〒457-0038　愛知県名古屋市南区桜本町35
電話番号	052-819-1700㈹
FAX番号	052-819-1280
代表者	代表取締役社長　大森ますみ
設立年月日	昭和29年8月
資本金	13,610,000円
従業員数	40名
業務内容	CADサポート / 建築の設計・管理及び不動産管理 / チップ製造及び木質端材リサイクル

組織図



沿革(1/2)

昭和12年(1937年)	創業。愛知県名古屋市熱田区に大森材木店を設立
昭和29年(1954年)	大森木材(株)・名古屋市売木材(株)の2社を設立
昭和40年(1965年)	愛知県刈谷市に大森木材(株)刈谷営業所を開設、センター卸売を開始
昭和45年(1970年)	愛知県海部郡蟹江町に大森木材(株)津島営業所を開設する
昭和48年(1973年)	大森木材(株)ツーバイフォー部を開設
昭和51年(1976年)	大森木材(株)と大森製材(株)を合併、愛知県宝飯郡一宮町(現豊川市)に豊川営業所を開設
平成2年(1990年)	豊川営業所に構造材加工プレカットラインを設置、イーグルプレカットと総称する
平成5年(1993年)	豊川イーグルプレカットに第2次ラインを増設
平成7年(1995年)	(株)イーグルプレカットを設立、宮川工機(株)との合弁にて第3次ラインを増設
平成8年(1996年)	津島営業所にプレカット第4次ラインを新設
平成9年(1997年)	創業60周年 豊川イーグルプレカットに羽柄プレカットラインを新設
平成10年(1998年)	(有)ザ・クルセイドを設立、チップ・木炭の製造を開始
平成11年(1999年)	豊川イーグルプレカットに第2羽柄プレカットラインを増設
平成12年(2000年)	豊川イーグルプレカットの第2次ラインを設備更新、宮川V6加工機を導入 (株)海部イーグルプレカットを設立、津島工場に第5次ラインを増設
平成13年(2001年)	愛知県新城市に工場を建設、金物工法対応加工ライン・合板加工ラインを導入 国際環境管理規格ISO14001を認証取得[(株)日本環境認証機構(JACO)による]
平成14年(2002年)	新城市に第2期用地取得、事務所・工場・倉庫を建築 豊川営業所を新城市へ移転(旧豊川営業所は豊川工場として継続)
平成17年(2005年)	新城工場にV8金具併用トリプルラインを増設
平成18年(2006年)	京都府京都市山科区に大森木材(株)京都営業所を開設 豊川工場にフィンガー加工ラインを新設
平成19年(2007年)	創業70周年 愛知県名古屋市南区に本社事務所建設。総務、経理、CADセンターを移転
平成20年(2008年)	津島第4次ラインを設備更新し、V8金具併用ダブルラインを導入 米IBM社のIBM Lotus NotesをプラットフォームとしたOSS(大森生産システム) を導入、本社・全営業所・全工場を一元化

沿革(2/2)

平成21年(2009年)	新城市に第5期用地取得、工場を建設。豊川工場より金具工法ラインを新城工場に移転 豊川工場より(有)ザ・クルセイドを新城工場に移転
平成22年(2010年)	新城工場にパネルラインを増設
平成23年(2011年)	豊川工場にパネルラインを移動して、豊川パネル工場として稼動する 新城工場に高速羽柄加工機を増設
平成24年(2012年)	新城工場に在来金具併用ラインを増設
平成25年(2013年)	新城工場に高速羽柄加工機を増設 (有)ザ・クルセイドに再生間柱工場を増設
平成28年(2016年)	新城工場に第7期用地取得、大型パネルラインを新設 あいちCO2削減マニフェスト2020宣言事業者に認定 (有)ザ・クルセイドを(株)イーグルプレカットサポートセンターへ吸収合併 新城工場に合板加工機を増設
平成29年(2017年)	創業80周年 豊川工場の機能を新城工場へ集約、豊川工場閉鎖 豊川営業所を新城事業所へ名称変更 新城工場に高速羽柄加工機を増設
平成30年(2018年)	本社から名古屋営業部及び本社CADセンターを分科、名古屋事業所として独立 津島営業所を津島事業所へ名称変更 OSSのプラットフォームを宮川工機(株)のBRAIN8へ更新し、社内生産管理体制を刷新 新城CADセンターを増築、拡張新城工場に柱加工機を増設 (公財)国際人材育成機構(アイム・ジャパン)を経由しベトナムより技能実習生の受け入れを開始
平成31年/令和元年(2019年)	創業80周年記念旅行を実施(ハワイ) あいちCO2マニフェスト2020宣言事業者としてのランクがダブルスターを経てトリプルスターへアップする
令和2年(2020年)	新城工場に製品保管用テント倉庫を増設
令和3年(2021年)	新城工場に合板加工機を増設 ISO14001認証継続20周年(新城事業所) 津島工場の製品保管用倉庫を更新
令和4年(2022年)	新城工場に宮川工機(株)VX05WWD1構造材加工機を新設
令和5年(2023年)	新城工場内の自動ピッキング装置を撤去、製品保管用テント倉庫へ建て替え

本社および工場のご案内

本社(名古屋営業部・CADセンター)

〒457-0038 愛知県名古屋市南区桜本町35

TEL:(052)-819-1700(代)

FAX:(052)-819-1280

【交通アクセス】

・名鉄名古屋本線本笠寺駅より徒歩約500m(約6分)

・地下鉄桜本町駅より徒歩約800m(約10分)

・市営バス桜本町四丁目停留所より徒歩約40m(1分未満)

・名古屋高速呼続出口より自動車約2km(約10分)

・名古屋高速笠寺出口より自動車約1.2km(約5分)

新城事業所(新城工場・新城CADセンター)

〒441-1338 愛知県新城市一鍬田字道目記1-18

TEL:(0536)-26-1670(代)

FAX:(0536)-26-2022【交通アクセス】

・JR飯田線野田城駅よりタクシー約3.5km(約10分)

・東名高速道路豊川インターチェンジより自動車約11km　(約20分)

・新東名高速道路新城インターチェンジより自動車約9km　(約20分)

津島事業所(津島工場)

〒497-0031 愛知県海部郡蟹江町須成字山方33

TEL:(052)-442-1555(代)

FAX:(052)-442-1393

【交通アクセス】

・JR関西本線蟹江駅よりタクシー約3km(約15分)

・東名阪自動車道蟹江インターチェンジより自動車約2km(約5分)

本社および工場のご案内

京都営業所

〒607-8075 京都府京都市山科区音羽野田町20

トップビル2F

TEL:(075)-592-5502(代)

FAX:(075)-592-5525

【交通アクセス】

・地下鉄東野駅より徒歩約250m(約3分)

・名神高速道路京都東インターチェンジより自動車約2km(

約6分)

地球環境を守るため、木材を大切に使いましょう。

Eagleプレカット®
大森木材株式会社

COMPANY PROFILE

〒457-0038
愛知県名古屋市南区桜本町35番地
TEL : 052-819-1700
FAX : 052-819-1280

MS
CM021

ECO1J0037

0051

環境の国際標準規格 ISO14001:2015認証取得(新城事業所)

あいちCO2
マニフェスト2020

※当社は地球温暖化対策を積極的に進めます。

イーグルプレカット、Eagleプレカット、Eagle-Precutは大森木材株式会社の商標です。